

# コンサートレポート

午後のくつろぎ ● ● ● ● ● アンサンブル スルーザヨコスカ 第3回アフタヌーンティーコンサート



快晴に恵まれた10月2日、開場時間に間に合うよう電車に乗り、会場の「メルキュールホテル横須賀」に向かった。演奏会場は当ホテルの20階にあり、窓からは三浦半島の北側の海が望める眺望のよい場所であった。今回のコンサートはケーキセット付の有料のコンサートであるにも関わらず120席ほどの観客席は満席であった。

プログラムは3部構成で、第1部は「日本民謡メドレー」他「服部良一ヒット曲メドレー」と続いた。特に意表をついたのは、「日本民謡メドレー」では鎌木先生自ら和太鼓をたたくなどの演出があった。

第1部終了後の休憩は、お茶とケーキを添えてのティータイムとなり、まさに午後のくつろぎのひと時だなど感じた。

第2部は少人数の特別に編成された、多方面に活躍されている専門家で構成された、「アストルタンゴアンサンブル」によるアルゼンチンタンゴの名曲4曲が披露された。キーボードによるバンドネオンの響きとともに、ヴァイオリン、ピアノ、そして鎧木先生によるバスクラやラテン打楽器が華やかに響いていた。

第3部は再びアンサンブル スルーザヨコスカの演奏でポールアンカ作曲の「ダイアナ」など5曲が演奏された。どの曲もリズム感のある曲で自然に体が揺れ、快い気持ちになっていた。そして、最後の曲「夏の日の恋」は楽器別交歓会での課題曲でもあったため興味深く聴かせていただいた。

レポート：船橋SE 高萩良郎

2016年7月18日（月）祭日に、磯子区民文化センター（杉田劇場）でアンサンブルシーガル横浜の第7回定期演奏会が行われました。杉田劇場は、戦後、美空ひばりが8歳の時にデビューした場所です。



定刻前に満席となった会場で、第1部『日本の叙情』が、ブルーライト・ヨコハマの演奏で始まりました。襟裳岬、麦の唄、島唄、日本民謡メドレー、演歌メドレーと演奏が進み、最後が美空ひばりメドレーだったので、会場から万来の拍手をいただきました。今回の定期演奏会は、4月から指導していただいている五十嵐淳先生になってから初めての演奏会でした。第2部『外国の曲』の前に、司会者から五十嵐淳先生のインタビューがあり、先生の紹介がなされました。第2部は、この素晴らしい世界の演奏で始まり、想い出のサンフランシスコ、幸せを売る男、サン・トワ・マミー、愛の讃歌と進み、ペルシャの市場にてが最後でした。またアンコールは、いつでも夢を、鉄腕アトムを演奏しました。ご来場のお客様には、アンケートを記入していただき、沢山のお褒めと励ましの言葉をいただきました。

アンケートの中に毎年演奏を聴きに来たいとの希望が沢山あり、来年からはこれまで隔年開催だった定期演奏会を毎年実施することにしました。今後も五十嵐先生を中心に元気に、楽しく演奏を続けます。

アンサンブルシーガル横浜 甘田